

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3204367号
(U3204367)

(45) 発行日 平成28年6月2日 (2016.6.2)

(24) 登録日 平成28年5月11日 (2016.5.11)

(51) Int.Cl.

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

F 1

A 6 1 B 1/00 3 0 0 B

評価書の請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 実願2016-519 (U2016-519)
(22) 出願日 平成28年2月4日 (2016.2.4)(73) 実用新案権者 514071473
リプト株式会社
東京都八王子市明神町4-9-1-301
(72) 考案者 後藤 広明
東京都八王子市明神町四丁目9番1号 リ
プト株式会社内

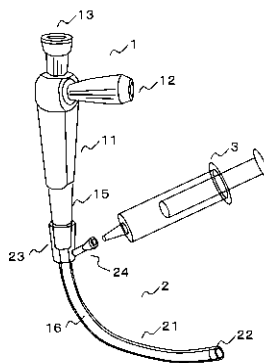
(54) 【考案の名称】 内視鏡用感染防止シース

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 内視鏡挿入部の外面と感染防止シースの内面が固着した場合でも、空気または水を送ることで固着が無くなり、容易に抜去可能となる感染防止シースを提供する。

【解決手段】 医療用内視鏡の挿入部16を覆う感染防止シース2において、可とう性のある薄肉チューブ21と、そのチューブ先端内腔を閉じる先端封止部材22、内視鏡挿入部16を入れる為の開口部23からなり、先端封止部材22から開口部23の間に薄肉チューブ21の内面に通じる送気・送水ポート24を有している。

【選択図】 図1



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

医療用内視鏡の挿入部を覆う感染防止シースにおいて、可能性のある薄肉チューブと、そのチューブ先端内腔を閉じる先端封止部材、内視鏡挿入部を入れる為の開口部からなり、先端封止部材から開口部の間に薄肉チューブの内面に通じる送気・送水ポートを有していることを特徴とする。

【請求項 2】

感染防止シースの内腔と内視鏡挿入部の外面もしくは折れ止め部との外面との気密、水密効果を有するシール機構を設けたことを特徴とする請求項 1 記載の感染防止シース。

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

この発明は、医療用内視鏡の挿入部を覆う感染防止シースに関する。

【背景技術】

【0002】

従来の内視鏡用感染防止シースは図 2 に示すように、内視鏡の挿入部を覆うように設けられたものである。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

【特許文献 1】特開 2000-171730 号公報

【0004】

【特許文献 2】特開 2005-152416 号公報

【考案の概要】

【考案が解決しようとする課題】

【0005】

しかしながら、以上の技術によれば、内視鏡検査終了後に感染防止シースを取り外す際に、内視鏡の本体を把持する一人目の手と、紐状の部材を把持し、引く操作をする二人目の両手が必要となる。つまり、感染防止シースを抜去する為には 2 人以上の人手が必須となる課題があった。また、構想的にも紐をシースの内腔の最先端に紐の引っ張り力に耐えうるだけの固定機構を有する必要がある、構造的にも複雑、かつ、高価になる問題があった。また、2 本の紐の分だけ感染防止シースを太く設計する必要がある、外径の太い内視鏡を挿入する事で、患者への苦痛に繋がっていた。

【0006】

一方で上記先行技術の様に紐を設けない構造では、使用後に感染防止シースを取り外す際に感染防止シースの先端部を把持して取り外す事となるが、感染防止シースの内面と内視鏡挿入部外面が樹脂どうしであるため、抵抗が大きく固着した状態になる事が少なくなかった。固着した状態で無理に取り外すと、内視鏡の挿入部自体を破損してしまい、高額な修理代が必要となっていた。また、使用後の感染防止シースは菌が付着しており、グローブ越しであっても汚染部を握る事は感染を助長することにも繋がる。

【0007】

そこで、この発明は、1 人で感染防止シースの抜去操作が行え、かつ、外径を犠牲にせず、安価な感染防止シースを提供することを課題とする。

尚、類似の技術として内視鏡の挿入部に被せるオーバーチューブが存在するが、これらは処置具の挿入を補助する事が目的であり、構造的にも先端は封止されておらず、感染防止の効果はない。

【課題を解決するための手段】

【0008】

以上の課題を解決するために、感染防止シースの内視鏡挿入口とシース先端部の間に内視鏡挿入部の外面と感染防止シースの内面をシリンジ等で送気もしくは送水が可能なポー

10

20

30

40

50

トを設けたことを特徴とする。

【考案の効果】

【０００９】

本発明によれば、内視鏡挿入部の外面と感染防止シースの内面が固着した場合でも、空気もしくは水を送る事で固着が無くなり、容易に感染防止シースが抜去可能となる。

【図面の簡単な説明】

【００１０】

【図１】この発明の第一の実施形態の内視鏡および感染防止シースの全体図である。

【図２】この発明の第一の実施形態を示す感染防止シースの断面図である。

【図３】この発明の第二の実施形態を示す感染防止シースの断面図である。

10

【考案を実施するための形態】

【００１１】

この発明の一実施形態を、図１に示す。

感染防止シースは、樹脂性（ポリエチレン、ポリウレタン、フッ素樹脂等）の可能性のある薄肉チューブ２１と、その先端を封止する形で覆う透明度の高い先端封止部材２２（PET、TPX、シリコン等）、内視鏡挿入部１６を入れる為の開口部２３からなり、先端封止部材２２と開口部３３の間に、薄肉チューブ２１の内面に通じる送気・送液ポート２４を有している。開口部３３の内腔には、内視鏡挿入部１６もしくは折れ止め部１５との水密・気密を保つ、シール部２５が備わっている。

【００１２】

20

「実施形態の効果」

この実施形態によれば、内視鏡検査終了後に内視鏡挿入部１６と感染防止シース２が固着した際にも、シリンジ３を送気・送水ポート２４に接続し、送気または送水することで、容易に固着を解除する事が出来る。また、内視鏡本体１を片手で握った状態でも、もう一方の手でその送気、送水操作が可能となり、固着が解除されているため開口部２３を把持知る事で、術者一人でも感染防止シース２の抜去操作が可能となる。構造的にもシンプルであり、コストダウンにも貢献する。更に開口部２３を把持することで、菌が付着した感染防止シースの先端部を手で触る事無く、感染防止シースを抜去する事が可能となり、感染の拡大を予防する効果もある。

【００１３】

30

「他の実施形態」

他の実施形態では、内視鏡挿入部を入れる為の開口部２３に内視鏡挿入部１６もしくは折れ止め部１５と気密、水密性を保つためのシール構造２５を設けたものでも良い。また、開口部２３と送気・送水ポート２４を一体としたものでもよく、薄肉チューブ２１自体に気密、水密性を保つためのシール構造２５を設けた物でも構わない。シール性能は完全なシール能力が必要ではなく、薄肉チューブ２１の内径と内視鏡挿入部１６の外径、もしくは折れ止め部１５との外径とのクリアランスを0.1mmから2mm程度とするレベルでも十分に機能する。

【符号の説明】

【００１４】

40

１・・・内視鏡本体

２・・・感染防止シース

３・・・送気・送液用シリンジ

１１・・・内視鏡本体

１２・・・光源

１３・・・接眼部

１４・・・挿入部

１５・・・折れ止め部

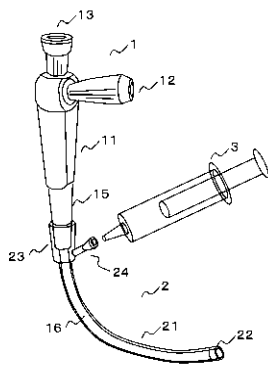
１６・・・内視鏡挿入部

２１・・・可能性薄肉チューブ

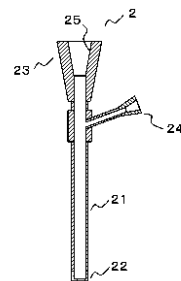
50

- 2 2 . . . 先端封止部材
- 2 3 . . . 開口部
- 2 4 . . . 送気・送液ポート
- 2 5 . . . シール部

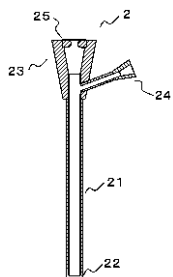
【図 1】



【図 3】



【図 2】



【手続補正書】

【提出日】平成28年3月23日(2016.3.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

医療用内視鏡の挿入部を覆う感染防止シースにおいて、可とう性のある薄肉チューブと、そのチューブ先端内腔を閉じる先端封止部材、内視鏡挿入部を入れる為の開口部からなり、先端封止部材から開口部の間に薄肉チューブの内面に通じる送気・送水ポートを有していることを特徴とする感染防止シース。

专利名称(译)	内窥镜感染预防鞘		
公开(公告)号	JP3204367U	公开(公告)日	2016-06-02
申请号	JP2016000519U	申请日	2016-02-04
[标]申请(专利权)人(译)	Ributo		
申请(专利权)人(译)	リプト株式会社		
当前申请(专利权)人(译)	リプト株式会社		
[标]发明人	後藤 広明		
发明人	後藤 広明		
IPC分类号	A61B1/00		
FI分类号	A61B1/00.300.B		
外部链接	Espacenet		

摘要(译)

要解决的问题：提供一种即使在内窥镜插入部分的外表面和感染防护护套的内表面被固定时也可以通过送风或水容易地去除的感染预防护套。覆盖医疗内窥镜的插入部分（16）的感染预防护套（2）包括柔性细管（21），用于封闭其管远端内腔的远端密封构件（22），内窥镜插入部分并且开口23用于将末端密封构件22插入开口23中并且，供气/供水口24与薄壁管21的内表面连通。

